

歯学連携ネットワークによる
口腔から QOL 向上を目指す連携研究

「遺伝子改変マウスを用いた骨組織解析の講習会」

日時：平成 23 年 9 月 26 日（月）～9 月 28 日（水）

会場：長崎大学・坂本キャンパス（〒852-8588 長崎県長崎市坂本 1-7-1）

主催：長崎大学

担当：小守壽文

（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 生命医科学講座 細胞生物学分野）

9月26日(月)

- 14:30～ 受付開始 (歯学部A棟2階セミナー室)
15:00 講習会日程等の説明、班分け、実習会場への誘導
15:30 実習開始
A班: 遺伝子改変マウス作製法 (マイクロインジェクション)
B班: マイクロCTによる骨量解析法
17:30 実習第1日目終了

9月27日(火)

- 9:00 実習開始
A班: 遺伝子改変マウス作製法 (受精卵の採取)
B班: 体外受精

12:00 午前の実習終了、各自昼食
14:00 午後の実習開始
A班: マイクロCTによる骨量解析法
B班: 遺伝子改変マウス作製法 (マイクロインジェクション)

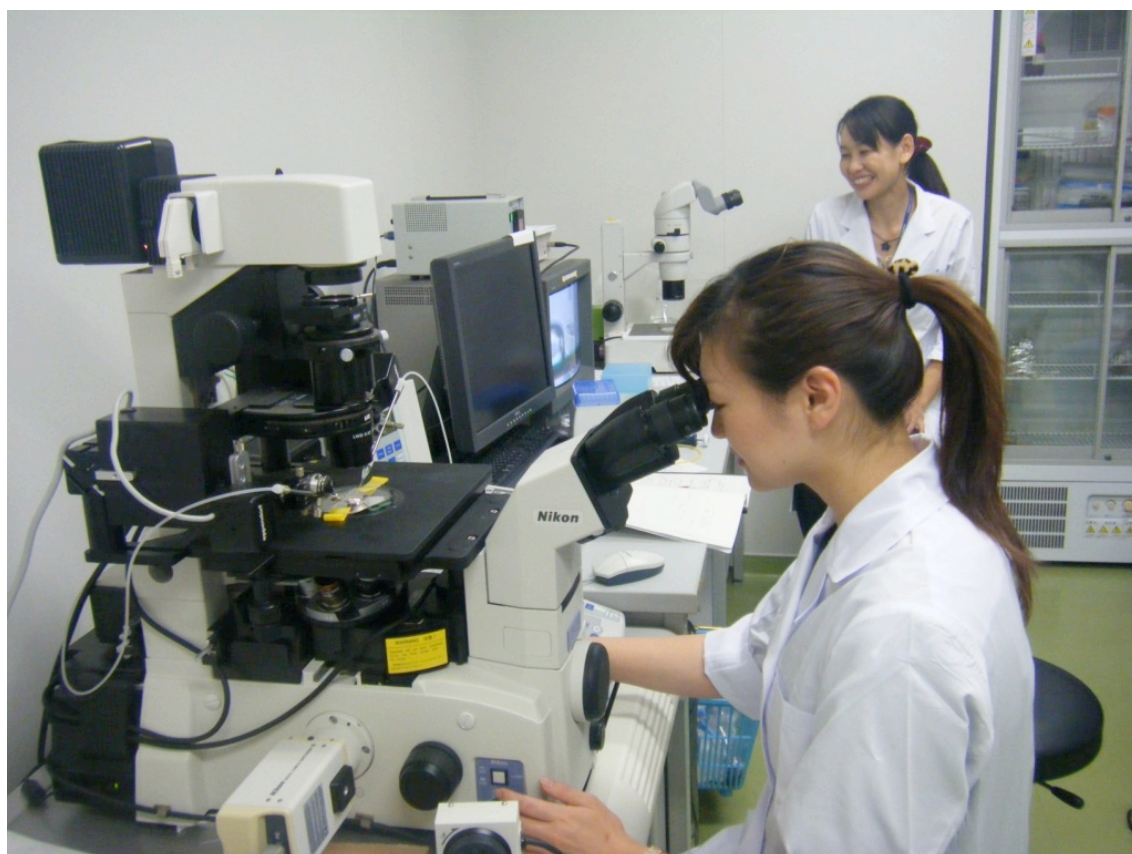
16:00 実習第2日目終了、歯学部A棟2階セミナー室へ移動
17:00 講義: 骨・軟骨形成の分子機構 In vivo 解析
(教授: 小守壽文)
18:00 講義第2日目終了

9月28日(水)

- 9:00 実習開始
A班: 体外受精
B班: 遺伝子改変マウス作製法 (受精卵の採取)

12:00 実習終了
12:30 講習会終了、解散

平成 23 年 9 月 26 日（月）～9 月 28 日（水）に口腔から QOL 向上を目指す連携研究の連携校の大学院生を対象とした「遺伝子改変マウスを用いた骨組織解析の講習会」を開催致しました。大学院生の方々は講師の指導のもと、遺伝子改変マウスの作製法、マイクロ CT による骨量解析法を実際に体験しながら講習を行いました。講習会 2 日目には小守壽文教授による「骨・軟骨形成の分子機構 In vivo 解析」と題した講義が行われ、学生らが熱心に耳を傾けました。



トランスジェニックマウス作製のための受精卵への DNA の注入を行う様子。



受精卵の採取を行う様子。



講習会に参加した大学院生を囲んでの懇親会。

～講習会に参加した感想～

今回、長崎大学での「遺伝子改変マウスを用いた骨組織解析の講習会」に参加させていただきました。現在私は、マイクロCTを用いて骨組織を観察する研究を行っているため、今回の講習会はぜひ参加したいと強く希望していました。また、遺伝子改変マウスの作製での、マイクロインジェクションや体外授精などの手法は普段体験することがないので、大変楽しみにしておりました。

マイクロインジェクションは顕微鏡下で操作を行うため、大変難しく、操作に熟練を要することを実感しました。また、使用する器具も、研究室で手作りされているものなど繊細なものが多く、大変な工夫がなされてきたのだと感心しました。マイクロCTの実習では、自分の研究のヒントになるお話を聞くことができたと思います。小守先生の講義はとても興味深く、また私たち大学院生の質問にも丁寧に答えてくださり、とても勉強になりました。

今回の講習会に参加し、実習も大変充実したものであった上に、普段接することのない他大学の先生方や大学院生と交流を持つことができ、大変よい機会

を得たと思っております。今後の自分の研究に、よい刺激を受けることができました。小守先生や和泉先生を含めスタッフの先生方がお忙しい時間を割いて今回の講習会を開催して下さったことに、感謝を申し上げます。ありがとうございました。(新潟大学大学院 坂上直子)

少人数での実技中心の講習会だったため、実際に手を動かしテクニカルな難しさを身をもって感じることができ、とても勉強になりました。また、どの先生もとても丁寧に教えてくださったので内容的にも非常に分かりやすかったです。ありがとうございました。(徳島大学大学院 小林真左子)

先日は先生方のご多忙の中、素晴らしい講習会に参加させていただきありがとうございました。当研究班では遺伝子改変マウスを用いた *in vivo* 実験を取り入れていこうという段階でした。内容はとても充実しており、実験の流れを把握することができました。また、指導して下さった先生方はとても親切丁寧に教えていただきました。とても良い雰囲気の中で講習を受けることができました。ありがとうございました。(九州大学大学院 山本直秀)

今回の講習会はとても興味深い内容で、充実した3日間でした。現在は *in vitro* での研究のため、マウスを触るのも初めてな経験でしたが、丁寧な説明とわかりやすいデモンストレーションにより、とても楽しく実習を行うことができました。今後は *in vivo* での研究もすすめていき、さらに研究内容を深めていきたいと思っています。また QOL 講習会では他大学の大学院生との交流も魅力の一つであり、みんなが様々な研究を行っており、多くの刺激を受けることができました。ありがとうございました。(北海道大学大学院 鶴山真紀)

Well, regarding the workshop there in Nagasaki, I found it very much interesting and dynamic. The workshop enabled a deep understanding of the methods of how to make genetically modified animals. The schedule was also very adequate for the time period. I really appreciate the hospitality and kindness of everyone there. I hope we can meet one more time soon.

Thank you! (岡山大学大学院 Emilio Satoshi Hara)